

令和 7 年度 経営発達支援計画事業

地域経済動向調査 報告書

令和 7 年 1 2 月

かづの商工会

内容

調査概要.....	3
調査結果.....	4
問1 事業所の概要について	4
問1-1 事業所の主たる業種.....	4
問1-2 常用雇用の従業員数.....	4
問2 売上高、営業利益、設備投資、資金繰りについて.....	5
問2-1 平均売上高.....	5
問2-2 売上高	5
問2-3 営業利益	6
問2-4 設備投資	6
問3 販売数量、販売単価、仕入価格（単価）について.....	7
問3-1 販売数量	7
問3-2 販売単価	7
問3-3 仕入価格（単価）	8
問4 事業所の資金繰り、雇用人員について	8
問4-1 資金繰り	8
問4-2 雇用人員	9
問5 事業所の業況について	9
問6 当面の経営上の課題について	12
問7 事業承継状況について	12
問7-1 事業承継の状況.....	12
問7-2 「承継予定なし」の今後について.....	15
問8 賃上げの状況について	16
問8-1 令和7年の賃上げ実施状況.....	16
問8-2 平均の賃金上げ幅	16
問8-3 賃上げを実施した、または賃上げをする理由.....	17
問8-4 賃上げを実施していない、または未定の理由.....	18
問9 外国人労働者の雇用状況について	19
問10 賃上げや人手不足に対応するために必要な支援策・要望等.....	19
問11 かつの商工会及び行政に対してのご意見やご要望.....	20

調査概要

1 調査目的

かづの商工会管内における経済動向を把握し、適切かつ効果的な施策を推進する基礎資料とするとともに、管内企業の経営判断の一助とするため、調査を実施するものである。

2 調査方法

無作為に抽出した管内小規模事業者の200社に対して調査票を郵送等で送付・回収を実施した。

3 調査実施期間

令和7年8月25日（月）～令和7年9月19日（金）

4 指数の算出方法

景況感等に対する5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、指数を算出している。

また、指数の表記について、良い得点は青色、悪い得点は赤色として網掛けを行い表記した。

評 価	点 数	景況感
良い、増加	1	好転 ↑ ↓ 悪化
やや良い、やや増加	0.5	
普通、不変	0	
やや悪い、やや減少	-0.5	
悪い、減少	-1	

～物価高と人手不足の影響が続く中、業種間で景況感に差～

【地域の状況】

小規模事業者の景況感は全体として緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、物価高騰や人件費上昇の影響が依然として強く、業種間で明暗が分かれる状況となっている。卸売・小売業や建設業では比較的堅調な動きが見られる一方、飲食業や宿泊業では販売数量の減少や仕入価格の上昇により、厳しい経営環境が続いている。今後も物価高や最低賃金の上昇が見込まれることから、適切な価格転嫁や業務効率化、人材確保に向けた取組が重要な課題となっている。

	実績				見通し			
	業況	売上高	仕入価格	営業利益	業況	売上高	仕入価格	営業利益
1) 製造業	0.38	0.25	-0.28	0.20	0.28	0.10	-0.28	0.10
2) 卸売・小売業	0.39	0.23	-0.45	0.25	0.36	0.21	-0.52	0.20
3) 建設業	0.43	0.37	-0.42	0.43	0.48	0.31	-0.42	0.43
4) サービス業	0.35	0.23	-0.45	0.23	0.23	0.23	-0.40	0.18
5) 飲食業	-0.09	-0.14	-0.68	-0.09	-0.14	-0.18	-0.64	-0.18
6) 宿泊業	-0.33	-0.08	-0.50	0.00	-0.42	-0.25	-0.50	0.08
7) その他	-0.25	-0.75	-0.25	-0.75	-0.25	-0.25	-0.25	-0.25
平均	0.29	0.20	-0.43	0.21	0.25	0.15	-0.44	0.18

調査結果

問 1 事業所の概要について

問 1 - 1 事業所の主たる業種

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
1) 製造業	13	19	17	17	20
2) 卸売業・小売業	26	24	25	24	28
3) 建設業	24	26	34	28	27
4) サービス業	24	21	20	24	20
5) 飲食業	21	15	18	17	11
6) 宿泊業	4	3	4	8	6
7) その他	6	8	4	3	2
合計	118	116	122	121	114

問 1 - 2 常用雇用の従業員数

	5 人未満	5 人～ 10 人未満	10 人～ 15 人未満	15 人～ 20 人未満	合計
1) 製造業	11	5	1	3	20
2) 卸売業・小売業	26	1	1	0	28
3) 建設業	11	6	6	4	27
4) サービス業	16	4	0	0	20
5) 飲食業	10	1	0	0	11
6) 宿泊業	2	2	2	0	6
7) その他	1	1	0	0	2
合計	77	20	10	7	114

問 2 売上高、営業利益、設備投資、資金繰りについて

問 2－1 平均売上高

(単位：千円)

	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目
1) 製造業	－	129, 274	108, 232	40, 866	64, 535
2) 卸売・小売業	－	32, 344	33, 851	69, 828	43, 786
3) 建設業	－	152, 170	198, 743	175, 255	138, 916
4) サービス業	－	13, 236	17, 811	36, 468	32, 036
5) 飲食業	－	46, 620	11, 742	14, 445	17, 388
6) 宿泊業	－	74, 561	94, 663	75, 384	102, 498
7) その他	－	56, 793	30, 975	52, 630	26, 404
平均	－	72, 143	70, 860	66, 411	60, 795

問 2－2 売上高

上期実績、および下期の見込（指数）

	1 年目		2 年目		3 年目		4 年目		5 年目	
	実績	見通	実績	見通	実績	見通	実績	見通	実績	見通
1) 製造業	0. 27	-0. 32	0. 21	0. 05	0. 38	0. 00	0. 32	0. 18	0. 25	0. 10
2) 卸売・小売業	0. 38	0. 40	0. 20	0. 27	0. 24	0. 34	0. 52	0. 23	0. 23	0. 21
3) 建設業	0. 04	0. 17	0. 30	0. 08	0. 04	0. 03	0. 32	0. 25	0. 37	0. 31
4) サービス業	0. 15	0. 19	0. 26	0. 20	0. 00	0. 13	0. 18	0. 15	0. 23	0. 23
5) 飲食業	0. 62	0. 43	0. 43	0. 20	-0. 17	-0. 19	-0. 38	-0. 34	-0. 14	-0. 18
6) 宿泊業	0. 83	0. 00	0. 17	-0. 50	-0. 38	-0. 88	0. 00	-0. 31	-0. 08	-0. 25
7) その他	0. 25	0. 42	0. 06	0. 50	-0. 38	0. 13	0. 17	0. 50	-0. 75	-0. 25
平均	0. 30	0. 23	0. 26	0. 17	0. 07	0. 05	0. 21	0. 11	0. 20	0. 15

問 2－3 営業利益

期実績、および下期の見込（指数）

	1 年目		2 年目		3 年目		4 年目		5 年目	
	実績	見通	実績	見通	実績	見通	実績	見通	実績	見通
1) 製造業	0.41	-0.27	0.26	0.26	0.35	0.15	0.32	0.29	0.20	0.10
2) 卸売・小売業	0.36	0.42	0.29	0.44	0.32	0.36	0.52	0.19	0.25	0.20
3) 建設業	0.07	0.24	0.31	0.21	0.21	0.18	0.34	0.34	0.43	0.43
4) サービス業	0.10	0.21	0.19	0.24	0.16	0.05	0.22	0.09	0.23	0.18
5) 飲食業	0.64	0.52	0.50	0.25	0.17	0.17	-0.24	-0.32	-0.09	-0.18
6) 宿泊業	0.83	0.00	0.17	-0.17	-0.38	-0.63	0.00	-0.31	0.00	0.08
7) その他	0.25	0.42	-0.14	0.36	-0.38	0.13	0.67	0.17	-0.75	-0.25
平均	0.31	0.28	0.27	0.28	0.20	0.16	0.25	0.11	0.21	0.18

問 2－4 設備投資

上期実績、および下期の見込（指数）

	1 年目		2 年目		3 年目		4 年目		5 年目	
	実績	見通	実績	見通	実績	見通	実績	見通	実績	見通
1) 製造業	-0.05	-0.15	-0.08	-0.17	-0.09	-0.06	0.00	-0.06	-0.05	-0.02
2) 卸売・小売業	-0.02	0.15	-0.02	-0.05	-0.04	-0.04	0.11	0.15	0.11	-0.02
3) 建設業	0.11	0.09	0.13	0.13	0.04	-0.01	0.00	0.08	0.24	0.20
4) サービス業	-0.12	-0.21	-0.03	0.06	-0.08	-0.02	0.04	0.04	0.00	0.00
5) 飲食業	0.18	0.21	0.04	-0.04	-0.06	-0.17	-0.21	-0.06	-0.14	-0.27
6) 宿泊業	0.17	0.00	0.17	-0.50	-0.38	-0.25	-0.06	0.13	-0.08	-0.25
7) その他	-0.20	-0.10	-0.25	0.13	-0.25	-0.25	0.00	0.00	0.00	-0.50
平均	0.02	0.03	-0.01	-0.01	-0.05	-0.07	-0.01	0.05	0.06	-0.01

問3 販売数量、販売単価、仕入価格（単価）について

問3-1 販売数量

上期実績、および下期の見込（指数）

	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目	
	実績	見通	実績	見通	実績	見通	実績	見通	実績	見通
1) 製造業	0.15	-0.40	0.15	0.09	0.38	-0.15	0.21	0.28	0.30	0.13
2) 卸売・小売業	0.40	0.31	0.25	0.25	0.24	0.22	0.41	0.21	0.23	0.11
3) 建設業	0.03	0.30	0.36	0.05	0.12	0.04	0.20	0.24	0.26	0.26
4) サービス業	0.16	0.14	0.24	0.21	0.08	0.15	0.12	0.12	0.13	0.18
5) 飲食業	0.60	0.50	0.47	0.37	-0.22	-0.22	-0.29	-0.26	-0.14	-0.27
6) 宿泊業	0.83	0.00	-0.17	-0.50	-0.50	-0.75	-0.13	-0.06	-0.08	-0.17
7) その他	0.38	0.13	0.07	0.43	-0.13	-0.13	0.50	0.50	-0.50	-0.50
平均	0.32	0.22	0.26	0.18	0.10	0.00	0.14	0.12	0.17	0.09

問3-2 販売単価

上期実績、および下期の見込（指数）

	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目	
	実績	見通	実績	見通	実績	見通	実績	見通	実績	見通
1) 製造業	0.17	-0.06	-0.24	-0.21	-0.18	-0.29	-0.26	-0.26	-0.20	-0.18
2) 卸売・小売業	0.08	0.02	0.11	0.00	-0.14	-0.12	-0.11	-0.25	-0.27	-0.21
3) 建設業	0.00	0.00	-0.12	-0.07	-0.41	-0.35	-0.16	-0.07	-0.08	-0.14
4) サービス業	0.09	0.02	0.06	0.06	-0.11	-0.10	-0.10	-0.10	-0.18	-0.10
5) 飲食業	0.18	0.13	0.00	-0.07	-0.17	-0.22	-0.21	-0.15	-0.23	-0.27
6) 宿泊業	0.50	0.33	0.00	-0.17	-0.38	-0.50	-0.44	-0.38	-0.17	-0.33
7) その他	0.00	0.00	-0.17	0.17	-0.13	0.00	-0.50	-0.50	-0.50	-0.50
平均	0.11	0.04	-0.04	-0.04	-0.23	-0.23	-0.19	-0.18	-0.19	-0.19

問 3－3 仕入価格（単価）

上期実績、および下期の見込（指数）

	1 年目		2 年目		3 年目		4 年目		5 年目	
	実績	見通	実績	見通	実績	見通	実績	見通	実績	見通
1) 製造業	-0.05	-0.41	-0.53	-0.50	-0.59	-0.62	-0.65	-0.53	-0.28	-0.28
2) 卸売・小売業	0.00	-0.13	-0.31	-0.48	-0.36	-0.40	-0.33	-0.52	-0.45	-0.52
3) 建設業	-0.47	-0.47	-0.59	-0.68	-0.63	-0.59	-0.50	-0.42	-0.42	-0.42
4) サービス業	-0.11	-0.15	-0.36	-0.31	-0.34	-0.30	-0.43	-0.36	-0.45	-0.40
5) 飲食業	-0.10	-0.20	-0.67	-0.73	-0.64	-0.64	-0.56	-0.56	-0.68	-0.64
6) 宿泊業	-0.33	-0.17	-0.67	-0.83	-0.88	-0.75	-0.56	-0.63	-0.50	-0.50
7) その他	0.00	0.00	-0.42	-0.17	-0.25	-0.25	-0.25	-0.25	-0.25	-0.25
平均	-0.13	-0.23	-0.48	-0.52	-0.52	-0.51	-0.48	-0.48	-0.43	-0.44

問 4 事業所の資金繰り、雇用人員について

問 4－1 資金繰り

上期実績、および下期の見込（指数）

	1 年目		2 年目		3 年目		4 年目		5 年目	
	実績	見通	実績	見通	実績	見通	実績	見通	実績	見通
1) 製造業	0.09	0.09	0.21	0.26	0.09	0.09	0.21	0.26	0.25	0.23
2) 卸売・小売業	0.25	0.29	0.29	0.35	0.16	0.28	0.29	0.25	0.25	0.27
3) 建設業	-0.02	0.13	0.10	0.08	0.10	0.16	0.11	0.22	0.22	0.35
4) サービス業	0.22	0.24	0.23	0.25	0.10	0.10	0.22	0.22	0.25	0.25
5) 飲食業	0.45	0.45	0.33	0.30	0.11	0.11	0.00	-0.03	0.00	-0.05
6) 宿泊業	-0.17	-0.17	-0.33	-0.33	0.13	-0.38	0.31	0.31	-0.17	-0.17
7) その他	0.42	0.50	0.19	0.44	0.25	0.25	0.67	0.33	-0.25	-0.25
平均	0.20	0.25	0.21	0.24	0.12	0.14	0.19	0.21	0.19	0.21

問４－２ 雇用人員

上期実績、および下期の見込（指数）

	1 年目		2 年目		3 年目		4 年目		5 年目	
	実績	見通	実績	見通	実績	見通	実績	見通	実績	見通
1) 製造業	0.25	0.25	0.37	0.32	0.35	0.38	0.21	0.15	0.20	0.18
2) 卸売・小売業	0.14	0.18	0.11	0.14	0.14	0.18	0.19	0.15	0.18	0.21
3) 建設業	0.59	0.59	0.62	0.65	0.46	0.49	0.39	0.50	0.37	0.46
4) サービス業	0.25	0.30	0.12	0.12	0.15	0.15	0.20	0.22	0.20	0.25
5) 飲食業	0.05	0.05	0.39	0.39	0.22	0.17	0.32	0.29	0.14	0.18
6) 宿泊業	0.50	0.50	0.50	0.50	0.38	0.50	0.38	0.38	0.42	0.33
7) その他	0.00	0.00	0.29	0.21	0.38	0.25	0.33	0.67	0.25	0.25
平均	0.25	0.27	0.33	0.33	0.29	0.30	0.28	0.29	0.24	0.28

問５ 事業所の業況について

上期実績、および下期の見込（指数）

	1 年目		2 年目		3 年目		4 年目		5 年目	
	実績	見通	実績	見通	実績	見通	実績	見通	実績	見通
1) 製造業	0.25	0.00	0.26	0.32	0.15	0.09	0.21	0.12	0.38	0.28
2) 卸売・小売業	0.37	0.44	0.37	0.37	0.38	0.34	0.42	0.38	0.39	0.36
3) 建設業	0.00	0.13	0.16	0.14	0.09	0.06	0.22	0.31	0.43	0.48
4) サービス業	0.23	0.20	0.32	0.24	0.00	0.02	0.30	0.22	0.35	0.23
5) 飲食業	0.55	0.65	0.40	0.37	0.08	0.00	-0.24	-0.21	-0.09	-0.14
6) 宿泊業	0.17	0.17	0.17	0.33	-0.25	-0.63	0.00	-0.06	-0.33	-0.42
7) その他	0.25	0.25	0.07	0.38	0.00	0.00	0.67	0.67	-0.25	-0.25
平均	0.27	0.30	0.27	0.29	0.13	0.08	0.21	0.19	0.29	0.25

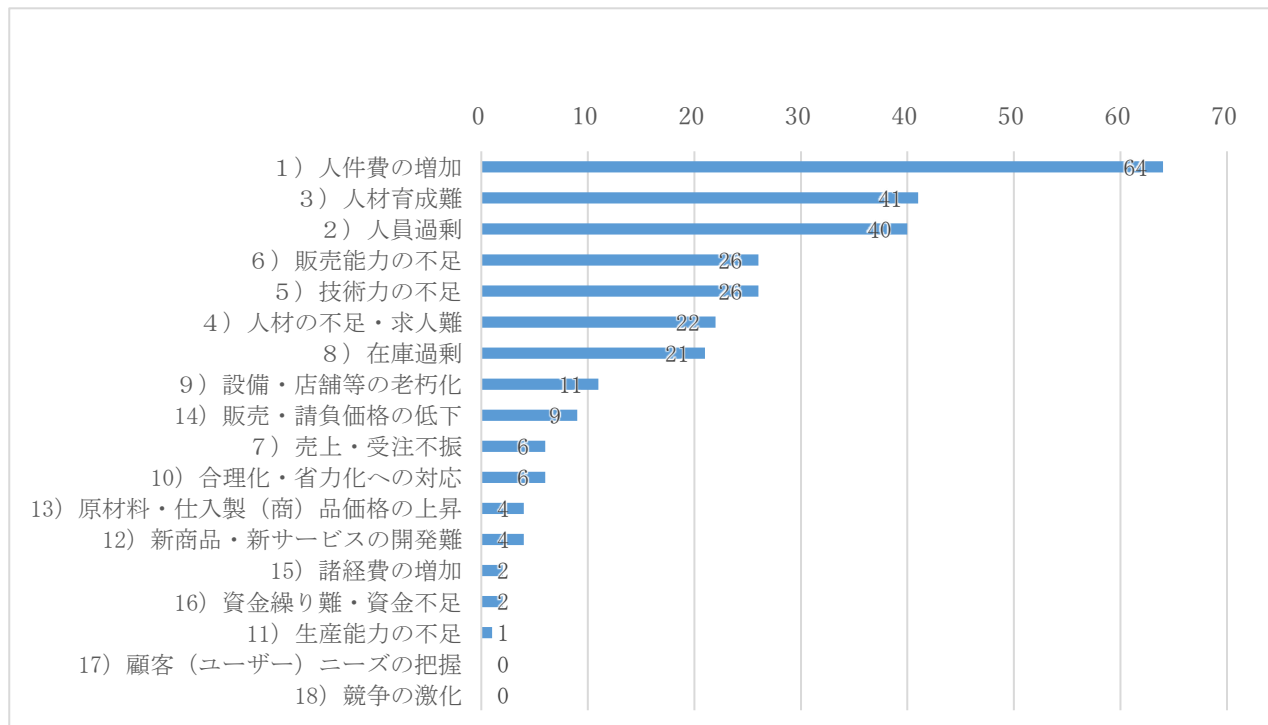
業況判断の理由

業況判断	上期実績	下期の見通し
良い	<ul style="list-style-type: none"> お客様が万博に引っ張られると思い、早めの対策をした。 とびこみの同業からの依頼が多かった。 マスコミによる宣伝放送が効いている。 前期での反省点をふまえ、各月とも安定した業況であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 去年より、宿泊・日帰り人員が増えている。 今年度は良いが来年は不透明。 良いほうにいくと思う。
やや良い	<ul style="list-style-type: none"> 今年に入って料金の見直しを行ったため。 取引先の生産台数が増加。 除雪量が多かったため除雪での売上が増加した。また、公共工事の完成が1月と5月に大きいのがあったため売上が増加した。 人員不足。 	<ul style="list-style-type: none"> メニューとチラシを新しくするので集客に期待。 個人の会食(祝事、仏事)が増加した。 設備改修の増により改善傾向。
普通	<ul style="list-style-type: none"> 1月～3月の宿泊が伸び悩んだ。 ライバル店が増えた。 去年と変わらないため。 健康志向は普通。 仕入が少なくキャッシュフローが安定。仕入のないロードサービスが売上増加した。 仕入価格の上昇はあるが、販売増出来ているため。 取引件数が年々減少している。 単価利益は減だが数量増により全体の粗利は増、賃金を上げていて業況としては普通。 販売数量は減っているが、価格がその分上がっているため。 物価高。 理美容は繁忙期と閑散期がハッキリするので特に気にならない。 	<ul style="list-style-type: none"> やや粗利増の見通しがあるが、賃金を上げていくので業況としては普通。 去年と変わらないため。 去年までと変わらないため。 元請の工事契約が入っている。この先も増加する。 好調であった前期を上回れるかは不透明。 今後も販売数量は減るため、対策が必要。 今後も比重をロードサービスに傾けることで利益が見込める。 今年いっぱい続く。 仕入の高騰により期待は出来ない状況です。 仕入価格の上昇はあるが、販売増出来ているため。 需要は高まる。 人件費の増加。 設備投資を行い、業務効率化が図られる見通し。整備作業で2名必要な作業を1名で行うことのできる設備を導入したことで、利益上乘せ見込み。 先細り感がある。 大口の引き合い確保をしたプラス要因はあるものの、収益体系の改善は依然検討が必要な状況であるため。 年末は忙しくなるだろう。 米の価格上昇、ただし不作。 問題が解消したため。
やや悪い	<ul style="list-style-type: none"> 1～6月の期間中、公共工事が全くない。 客数減。 元請の工事の発注が前年度より減少したため。 顧客減少、設備の老朽化。 公共工事の減少。 購買力、人口減少、他店・ネット購入へ移行。 材料等の高騰、人材不足による効率低下。 実質的には常態的な人員不足による売上の減少。 取引先の金属スクラップ発生減少のため。 	<ul style="list-style-type: none"> インバウンド増加に期待。 悪い。 雨が多く天候不順で高揚にも影響があるようで客が少ない。 加工賃UPを計るも得意先も厳しく見通しも厳しい。 減少が今後も続くと予想されるため。 公共工事の減少に伴い売上減少が見込まれる。 更に悪化。 購買力、人口減少、他店・ネット購入へ移行。

	<ul style="list-style-type: none"> • 受注の減少と人件費の増加。 • 受注不足。 • 修理受付入庫から、修理完了出庫までの期間が長い重整備の車が複数台あり、部品代の支払、売上伝票の遅れ、回収遅れでやや悪い。 • 所得金額は増加しているものの、役員報酬の減額によるものであり、収益体系の本質を改善する必要があるため。 • 新聞の値上がりで購読をやめる人が増えた。折込チラシがほとんどない。 • 人員不足ではあるが、仕入れ値が高くなっているため、人員を確保しても人件費に回す資金の余裕があまりないという悪循環となっている。 • 設備の修理費等が増加し、売上は横ばいか微増に留まっている。 • 雪害により野天風呂が壊れたことにより客が減った。 • 値上げはしているが米の仕入高も上がっており、採算がなかなか改善されない。 • 農機具等個人で修理に来る人が減少。 • 農業者の減少、卸からの直接購入。 • 売上は一時期よりも回復基調にあるが、売上原価の高騰で黒字化するのがやっとの状況。整備士の補充も考えると利益が足りない。 • 繁忙期の天候不順。 • 比較的売り上げの多い取引先からの注文がなくなったため。 • 物価高で衣料品へ向かない。 • 物価高による価格の上昇のため客数が減少しているため。 • 来客の減少。 • 来店数の減少。駅付近の人通りが以前より減って活気に欠けるせいか、毎日静か。 • 例年と比べ受注が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 今後の受注の増減については見通しが立たない。 • 今後も大型経営農家になると売上減少になるかも。機械のディーラーは修理より新しい機械購入を進める傾向にある。 • 材料等の高騰、人材不足による効率低下。 • 仕入の値上げは続き、10 月には人件費も上がるため先行きはあまり明るくない。 • 実績部分をカバーできる販売先がまだ見つかっていないため。 • 受注不足。 • 従業員の欠員補充が出来ておらずもう一名の従業員も病院に通っており、生産数量が減る見込み。 • 新聞の値上がりで購読をやめる人が増えた。折込チラシがほとんどない。 • 人員さえ増員ができれば明るい。 • 人員を確保して売値を高くしたり、今いる人員で仕事をまわしていくということをしていないと、業況は良くならないと思っている。 • 人員不足。 • 設備の修理費等が増加し、売上は横ばいか微増に留まっている。 • 物価高により利益減少
悪い	<ul style="list-style-type: none"> • 建設現場数の減少が大きい。 • 建築件数の低迷 • 顧客の変化(量販店への移行)。 • 公共工事の減少、受注工事の減少。 • 取引先が今年の2月から減ったため。 • 人口減少。 • 全ての取引先において微減でそれが重なった印象。 • 葬祭貸ホールを運営しているが、コロナを機に葬儀の在り方に大きな変化(縮小)あり売上、利用減。 • 他のスキー場に降雪が多かったので来客が減り売上が減少した。 • 着工戸数の減少や住宅価格の高騰など。 • 売上メインの生産計画が7~8割減。 • 包装資材や調味料、原料などの値上げに耐え切れず、6月より価格改定に踏み切ったが、店舗によっては売上が落ち込んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 11月は計画があるが一時的と思われる。 • 課題は変わらず。 • 建築件数の低迷。 • 顧客の変化(量販店への移行)。 • 公共工事の減少。 • 今後も公共工事の見通しがなく厳しい状況である。 • 今年は現状のままになりそうである。 • 取引先が減り元に戻らないため。 • 葬儀の規模縮小による売上、利用減の流れは止まらなるとみる。 • 民間工事の受注を増加する。

問6 当面の経営上の課題について

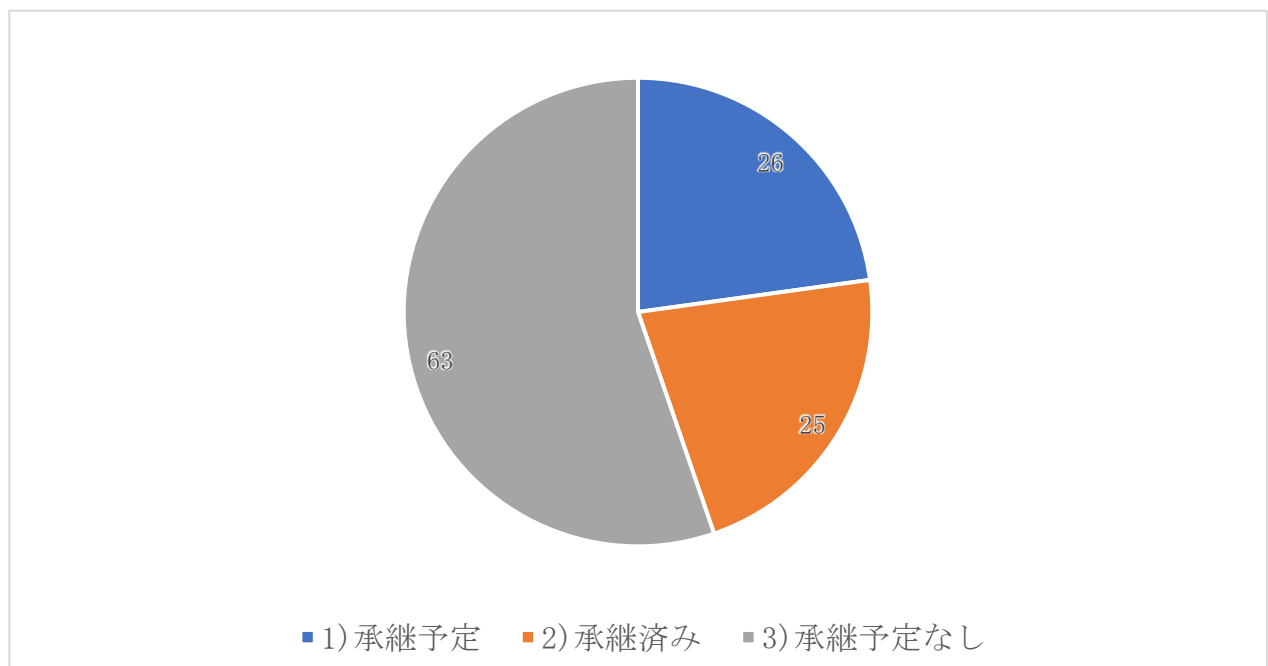
(単位：件)



問7 事業承継状況について

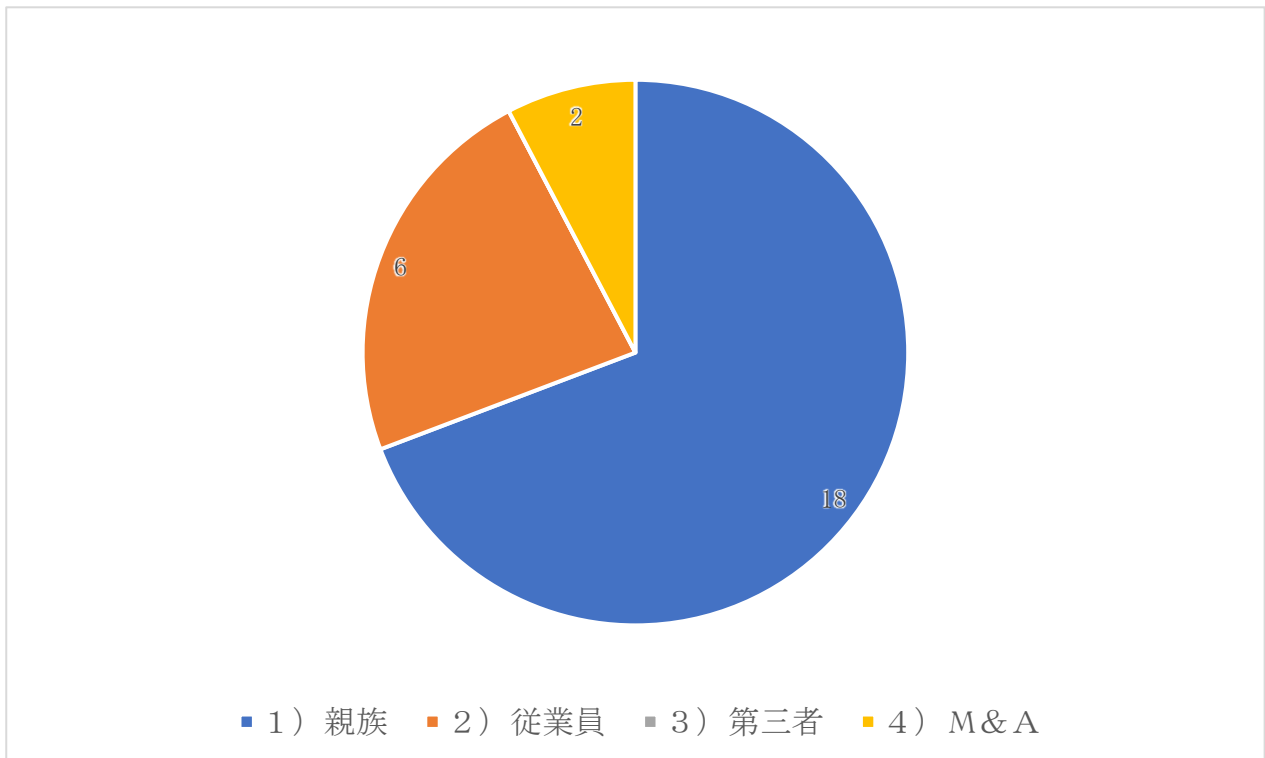
問7-1 事業承継の状況

(単位：件)



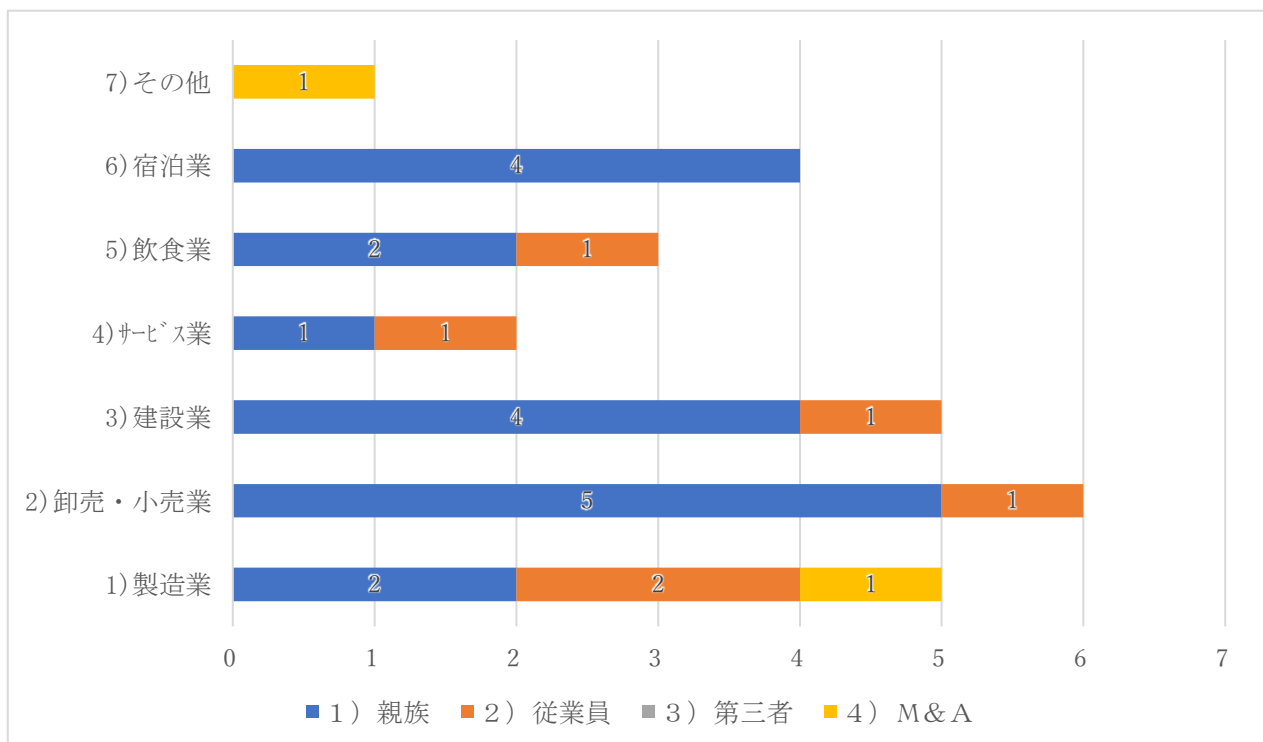
「承継予定」の場合の後継者候補について

(単位：件)



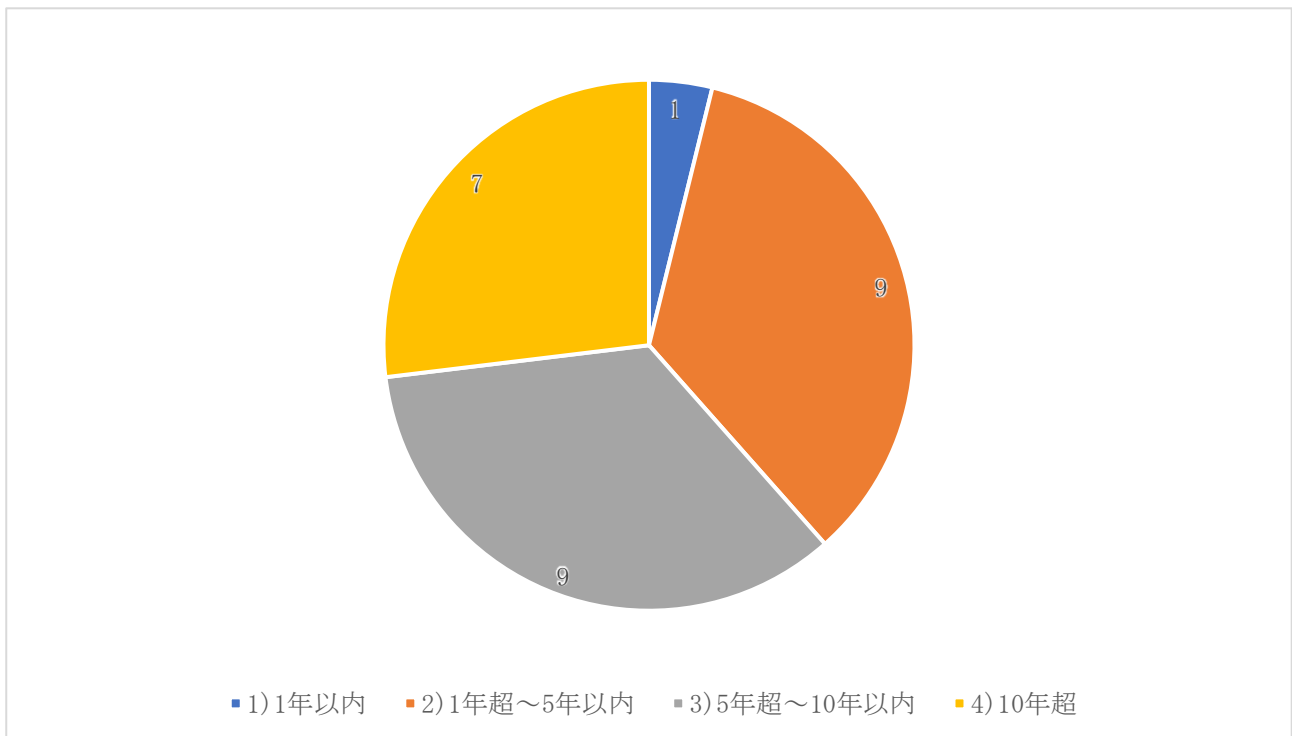
業種別内訳

(単位：件)



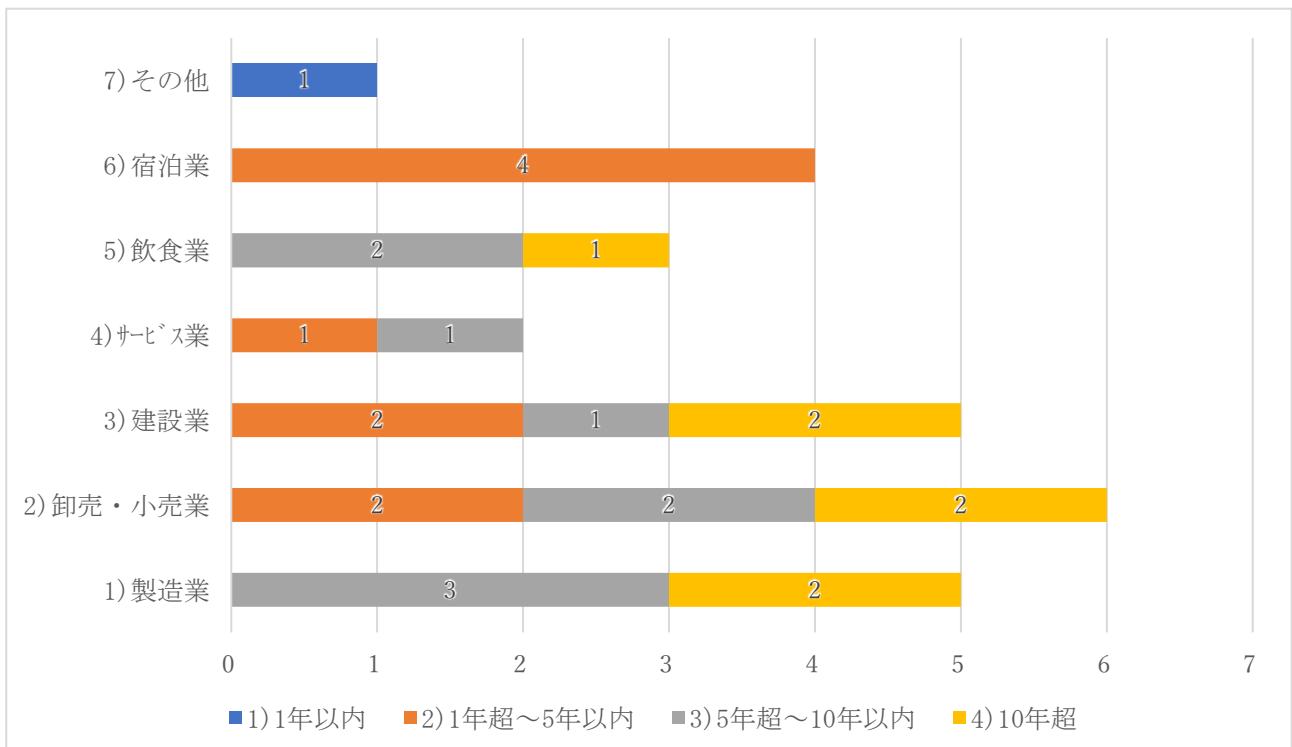
「承継予定」の場合の承継時期について

(単位：件)



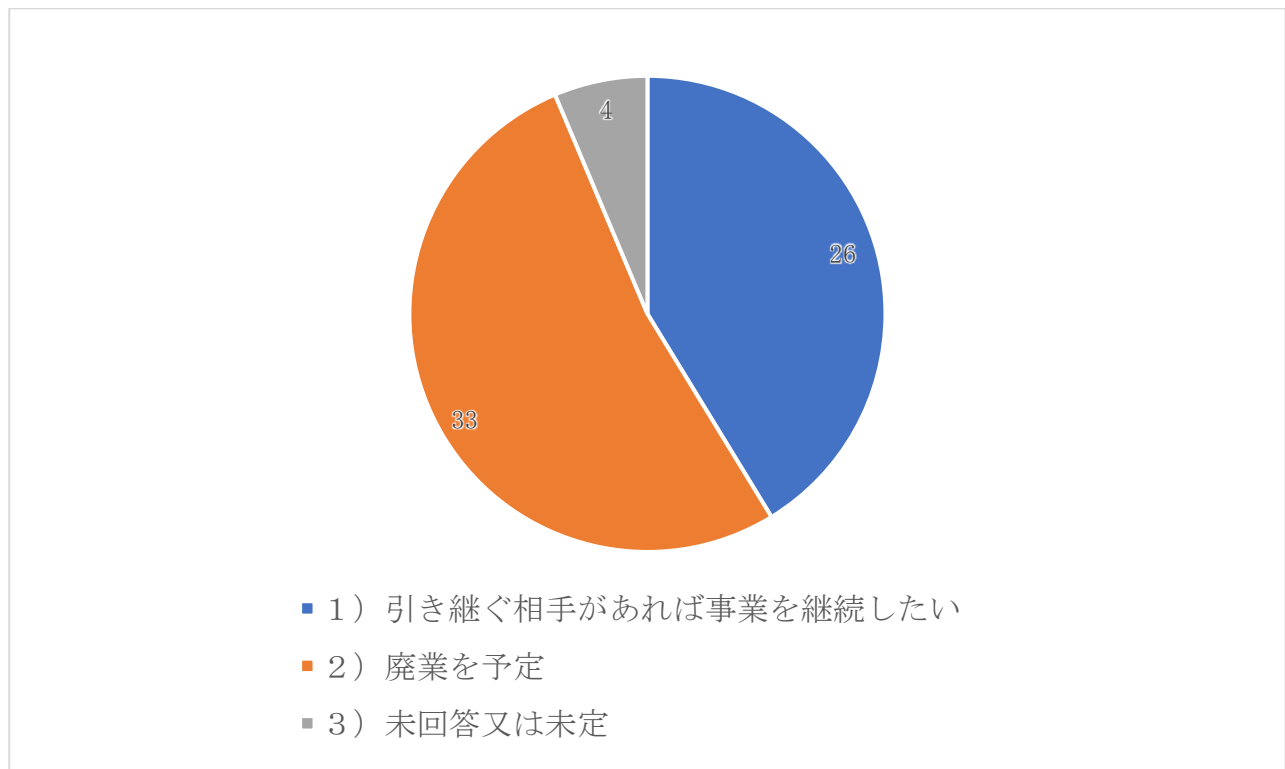
業種別内訳

(単位：件)



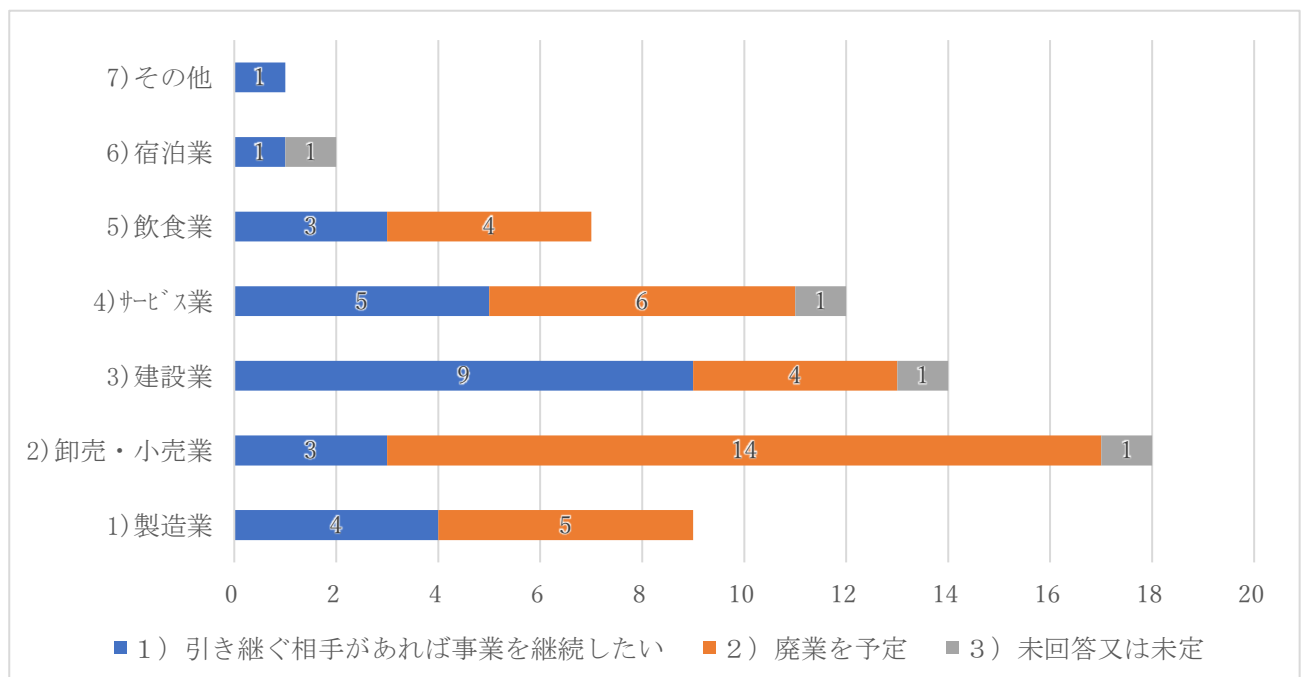
問 7－2 「承継予定なし」の今後について

(単位：件)



業種別内訳

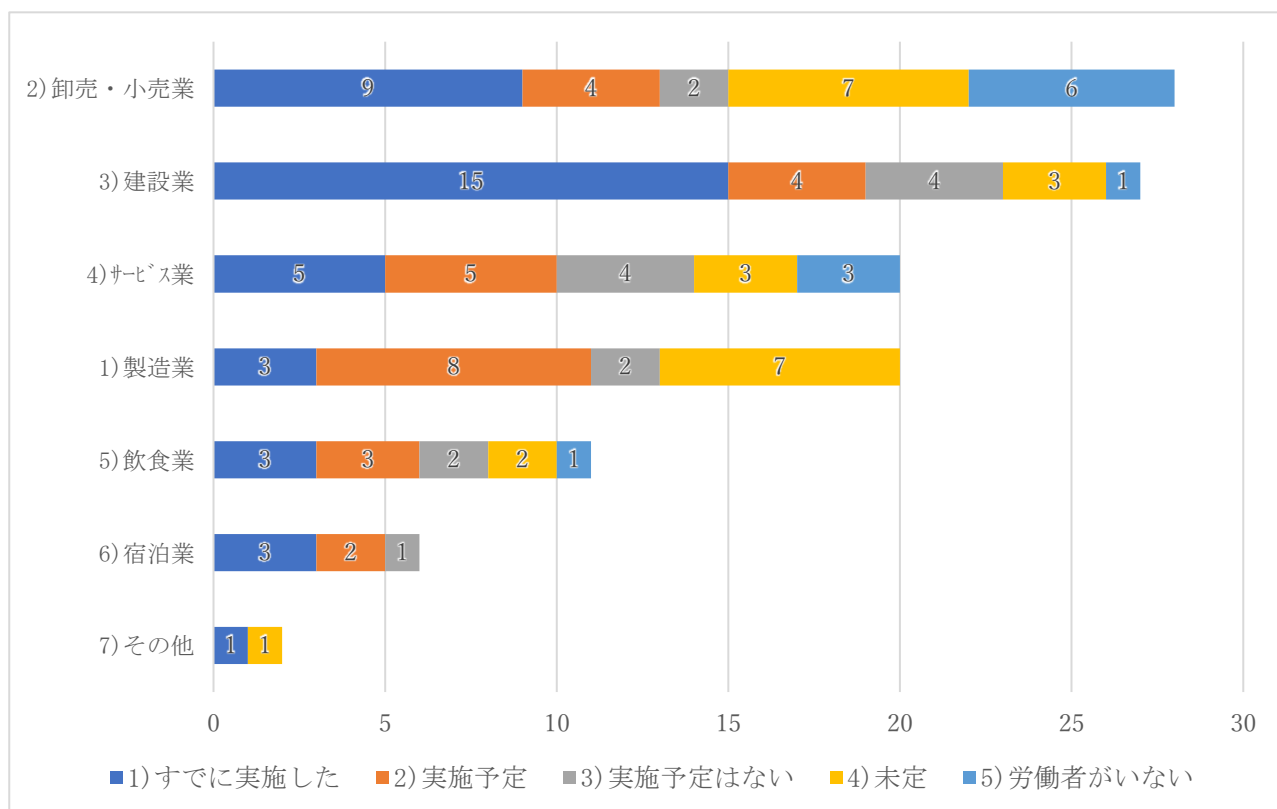
(単位：件)



問 8 賃上げの状況について

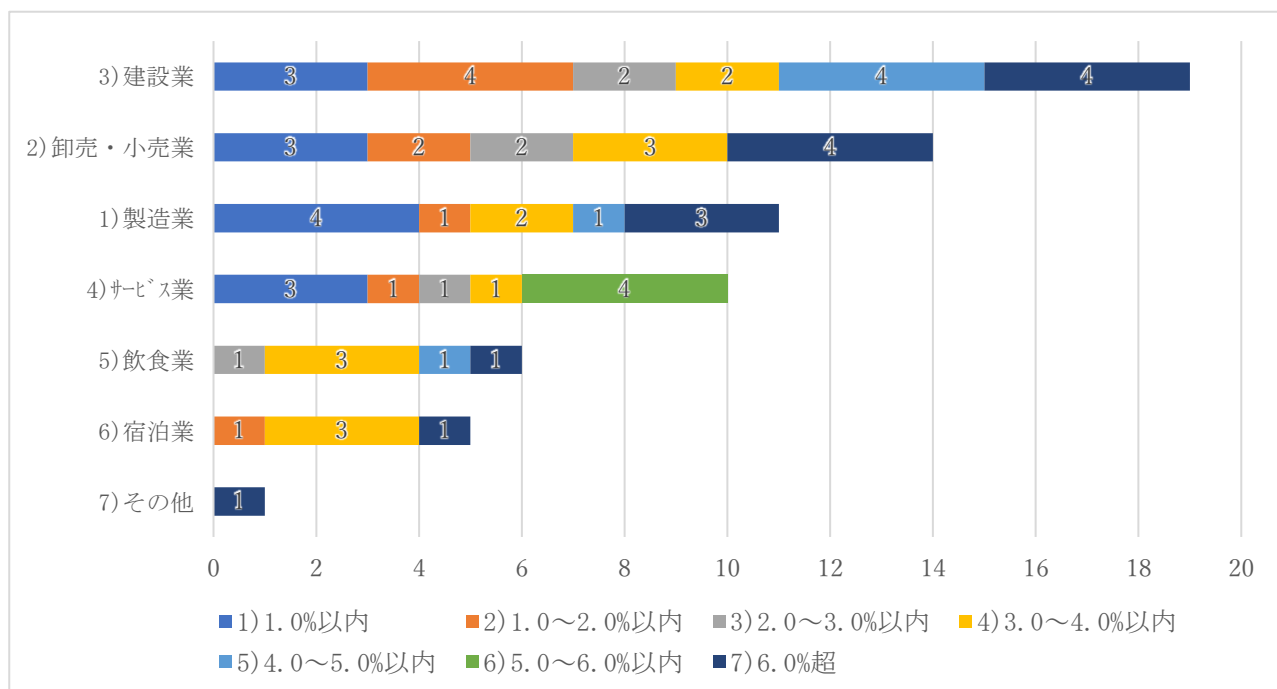
問 8－1 令和 7 年の賃上げ実施状況

(単位：件)



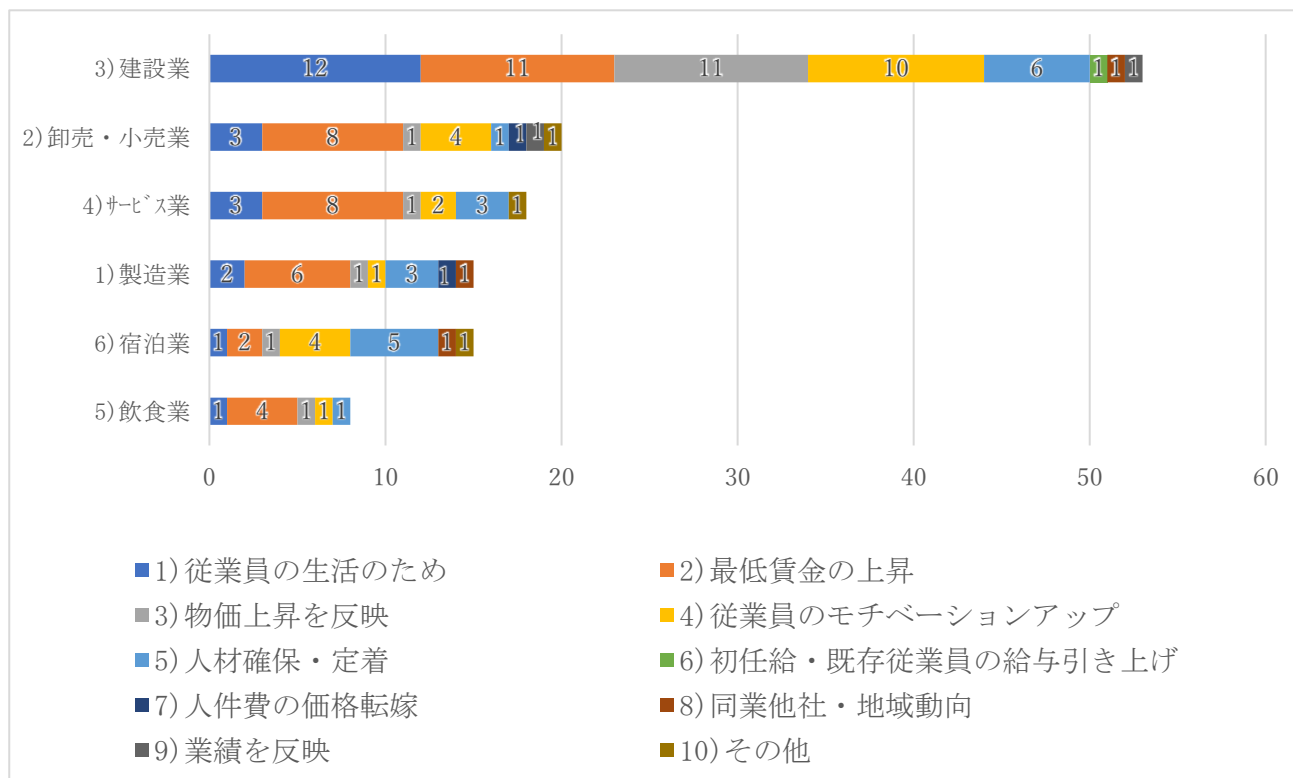
問 8－2 平均の賃金上げ幅

(単位：件)



問 8－3 賃上げを実施した、または賃上げをする理由

(単位：件)

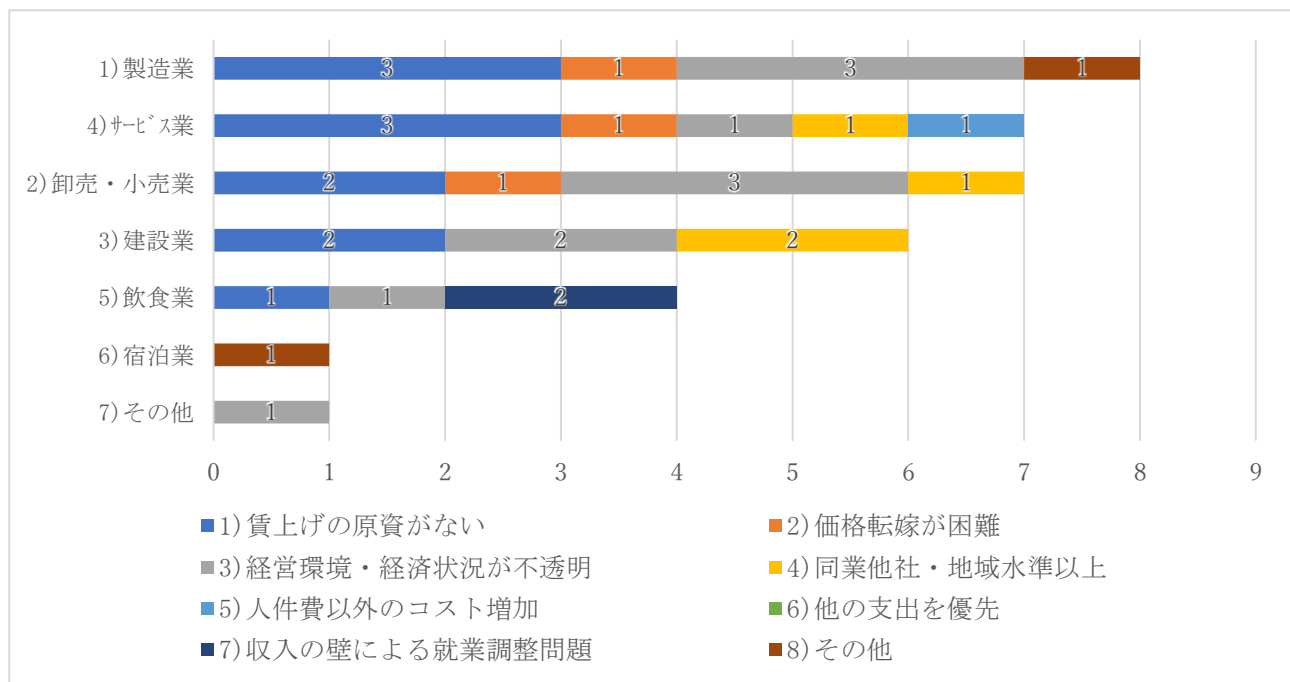


賃上げを実施した、または賃上げをする理由（その他）

- 売上が増加したため。
- 助成金の条件にあったため。
- 国の方で賃金を上げるよう具体的な指示があったため。その分基本料等が国の指示で上がったが、実際は足りていない現状である。
- 今までの最低賃金以外の賃上げをしていなかったため。

問 8－4 賃上げを実施していない、または未定の理由

(単位：件)

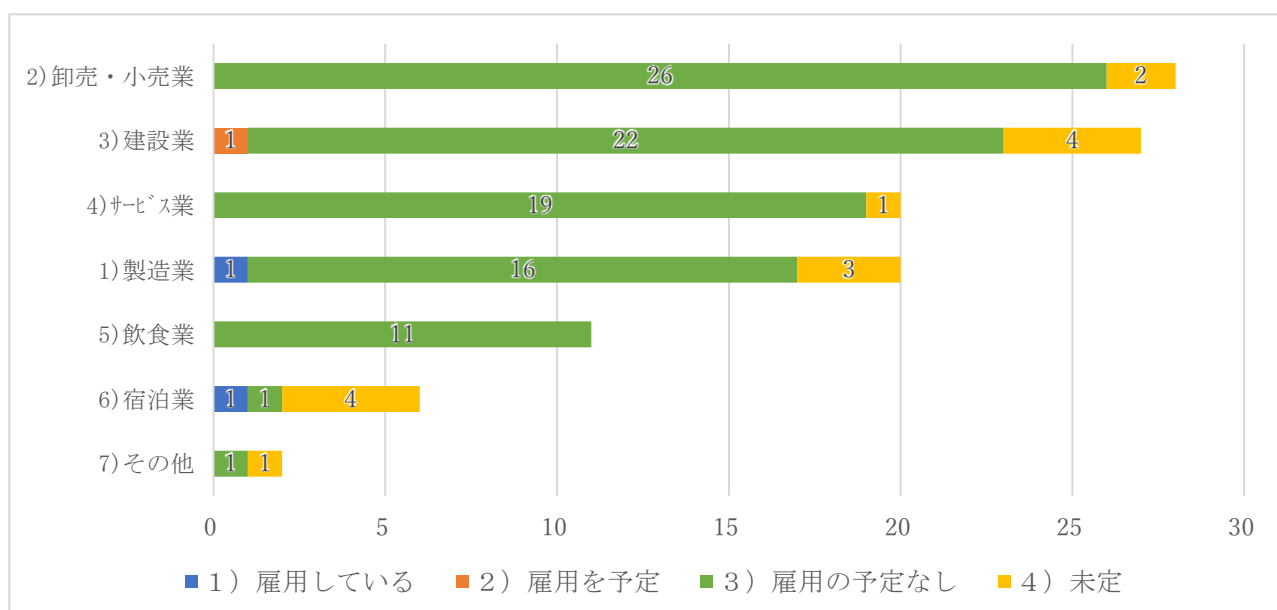


賃上げを実施していない、または未定の理由（その他）

- 価格の見直しの相談を今後するのでそれによって決める。
- 仕事が忙しい時にだけ働いてもらっているため、現在の時給で当面は対応。

問 9 外国人労働者の雇用状況について

(単位：件)



雇用している外国人労働者の国籍

- ・ベトナム（製造業）
- ・ミャンマー（製造業）
- ・ネパール（宿泊業）

問 10 賃上げや人手不足に対応するために必要な支援策・要望等

- ・103万円の壁、年金受給者の年金減額を少なくしてください。
- ・営業を増やし取引先の拡大を図る。求人をしているが、応募者がいないので更に広く人材を集める努力をする。
- ・減税。
- ・雇用助成金を支援して欲しい。
- ・今年度は公共以外はたまたま良かったが、今後を考えると国や県、市からの単価が安すぎで今の給料を維持できない。公共事業単価は絶対上げて欲しい。
- ・十和田湖畔での商売のため季節雇用となるためなかなか見つからず。
- ・人口を増やすために頑張っていけるような補助？施策？長期的に見て都市部からバランスを取らないといけない気がする。
- ・人口減少、売上減が更に進む中、賃上げは更に更に求められる。個人事業者は廃業するしかない。給付金などの支援が必要です。
- ・人材確保するための有効な手段等を学べる機会を提供して欲しい。（今まで雇用してきた従業員が、体調不良による退職あり。もう1名も年内退職見込み。）
- ・人手不足で外国人雇用を考える場合、住居問題があるため、住宅補助を企業に向けて考慮してもらいたい。
- ・調剤薬局は国で価格(売値)を決めているが、賃上げに際しては価格をもっと上げてもらえないと今後の経営は困難になってくるため、引き上げて欲しい。
- ・賃金を引き上げても価格転嫁が難しい。大手企業への値上がりがスムーズになるように考えて欲しい。

(値上げすることにより取引が無くなるのが不安)

- 賃上げするだけで助成金か補助金が出るものがあれば良いと思う。人手不足については学生さん達や 20～30 代の方に建設業の楽しさや ICT を使用したりすることの説明をして、興味をもたせて欲しい。
- 賃上げは必要とを感じるが、小売店では業績が伸びないと人を雇うことが出来ない。よって、個人の負担が増え、店を続けることに困難を感じる。これを解消できる支援策を教示いただきたい。
- 賃上げ補助金。
- 定年をむかえても働く意欲のある方に向けて就労を呼び掛ける策を期待。
- 売上が減少している中での賃上げは厳しい。鹿角市、秋田県でもっと観光に力を入れて魅力のあるところにして欲しい。
- 金融機関が来社された時に外国人実習生の登録企業の話がされていたので、改めてお話を聞いてみることはしている。
- 来年、最低賃金が 1031 円になるが原材料等の値上がりなどで出ていく一方である。小さい店などへの県からの支援などはないのだろうか？(賃上げそのものに関しては反対ではない。原材料の値上がりなども仕方ないと思っている。)
- 例えば、外国人労働者の宿泊先(寮みたいな)があつて(行政からの補助もあり)、そこから各事業者へ通勤できるようなシステムがあればこの人材不足の折、助かる。
- 職人の育成。
- 物価高対策。

問 1 1 かづの商工会及び行政に対してのご意見やご要望

- ①人員不足の件②メインだけでは先が怖いのでサブで何かできないか？
- イベントの日程が合わなくて参加が難しい。
- ベーシックインカムを検討。給付制限、実施期間など制限を設けることは本質ではないが、10 人以下企業の従業員は対象であって良いと思う。(商品券ではないと思う。)
- 個人事業に対しての支援や補助をもっと考えて欲しい(補助金申請要件が法人に限られるものがあるため)。
- 市、議会、給付金トラブルなど悪い面で有名になって欲しくない。割と他県の人知っているの。
- 商工会版のシルバー人材センターの仕組みを作って欲しい。
- 人件費の対策が出来るまでの助成。
- 全国チェーンの店舗だが、東北を例とすると鹿角は他に比べ極端に土日祝日の来客が少ない。最近はゴールデンウィーク、お盆、正月など長期休みの期間も…。ここ数年の間で閉店店舗が多くあり。そのため益々買い物人口の流出が進んでいる。前々から言っているが、特別振興券を出して鹿角の活性化を図って欲しい。
- 地域経済活性化のため、施策を考えて欲しい。地域イベントの実施、街中に配置する業種の配慮、将来の街づくりの配置について今やることを考え実行して欲しい。商業の活性化。
- 展示会出展に関しての補助金は毎年継続してもらいたい。
- 補助金について色々教えて欲しい。こういう活用が出来ますよとかセミナーとか。
- 飲食店・代行業者への支援等。代行がつかまらないことを理由に飲みに出ないという声が多い。代行業者に対する支援策があっても良いのでは。